

# 「学校における安全点検要領（R6.3.26）」について

資料4

課題

教職員の負担を軽減しつつ質の高い安全点検を実現するために

- ・安全点検の具体的な基準（頻度・観点・手法等）の明確化が必要
- ・専門家に相談すべき点検内容の整理が必要
- ・子供の視点を加えた安全点検の推進が必要

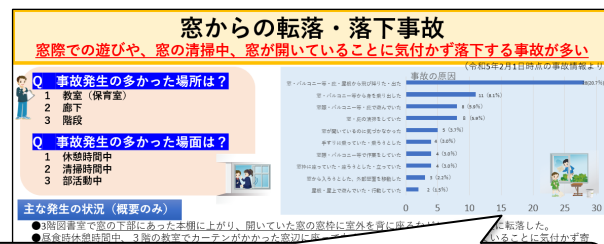
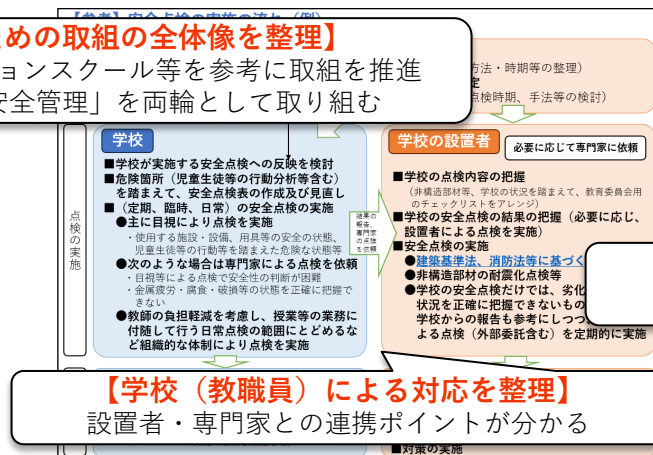
公表ページ

<https://anzenkyouiku.mext.go.jp/anzenken/index.html>



「学校における安全点検要領」を新たに作成

- ✓ 点検の基準（観点・手法・頻度・不具合対応）を整理
- ✓ 学校で日常的に使える点検表を作成
- ✓ 専門家（外部人材）の活用を整理
- ✓ 子供の視点やICTを活用した事例等を紹介



【過去の事故・ヒヤリハット事案の整理】  
過去の事故等の教訓を分かりやすく整理

事故情報から得られる安全点検の留意点【 】は、日常の安全点検の重要なポイント

- ★ 日常及び定期的安全点検において、教室や廊下等の窓の下に足掛かりとなるものが置かれていないかを確認する必要があります。（窓に落下防止の手すり等があっても、窓際に足掛かりとなる設置物があると窓の空いている状態で設置物に登り落下の危険があることに留意する。）
- ★ 定期的点検において、落下を防止する対策に不備を確認する必要があります。（窓を閉めないようにするストッパー等の作動状態に異常がないかを確認する。）

**事故の発生リスク**

- 窓ガラスのひび割れ、窓やドアに異常（変形、腐食、ガタつき、開閉時の引っかかり、著しく重いなど）はないか。

**【箇所ごとのポイントを整理】**

点検の観点・手法・頻度・不具合が見つかった際の対応が分かる

**【1分程度のポイント動画】**

誰でもすぐに点検ができる

**【様々な事例紹介】**

子供の視点やICTを活用した事例等を紹介

**点検後の対応**

- 点検後、点検員が点検結果を確認し、点検結果に基づき対応を決定する。

**【1分程度のポイント動画】**

誰でもすぐに点検ができる

**【様々な事例紹介】**

子供の視点やICTを活用した事例等を紹介

**【学校ですぐに使える点検表】**

そのまま使える、編集・加工もできる

**安全点検のDX化による教員の負担軽減**

点検の観点・手法・頻度・不具合が見つかった際の対応が分かる

**【様々な事例紹介】**

子供の視点やICTを活用した事例等を紹介

# 効果的に安全点検を推進するためのノウハウ集 (R7.3)

令和6年3月に作成・公表した「学校における安全点検要領」を踏まえ、以下の3つの観点から、取組充実のためのノウハウを事例をもとにQ&A形式で示したものの。

安全点検の効率化・高度化や効果的な事故防止の取組の推進に役立てていただきたい。

## ▶ 専門家を活用した安全点検

## ▶ デジタル技術を活用した安全点検 ～安全点検表のデジタル化～

## ▶ 地域や保護者等と連携した安全点検

Q1 スポーツ用具管理アドバイザーはどのような人たちですか？

A

- 「スポーツ用具管理アドバイザー」は、事故の低減のために、用具に関する正しい用品協同組合連合会（経済産業大臣認可）
- アドバイザーとして活動するためには、講習受講と試験合格に加え、その後の更新全国に約500名のアドバイザー認定者がいます。

点検の効率化が図られるだけでなく、意識の向上や継続性・実効性の観点で効果があります。

### 事例・取組について

Q13 「人財バンク」にはどのような方が参加されているのですか？

A

- 令和6年度現在、「人財バンク」安全サポート部会には43名の方が登録されており、各月の点検にはそのうち10名程度の方が参加します。「人財バンク」のメンバーは保護者だけでなく、公募の他、声掛けや人づての紹介などで集まっています。
- 地域で子供を支える、安全を確保する、という意識で皆さん集まっていますが、活動に参加されているきっかけは様々です。

子供の保護者です。知人に誘われたことがきっかけで参加しています。参観日やイベントの時以外にも、学校や子供の生活に寄り添いたいという思いから参加しています。



退職後に交通指導員となり、活動を通じて子供たちを支援する機会を得ました。活動の中で支援活動の楽しさを実感しており、安全点検にも参加しています。

安全点検要領（令和6年3月26日公開）では、「教職員点検」という観点から、安全点検のDX化・安全点検表Googleフォームを活用した事例等）を紹介しています。





# 「学校事故対応に関する指針」の改訂（R6.3.26）について

## 事故対応の基本的な流れ

### 日頃の取組

- ・学校の安全点検
- ・危機管理に関する教員研修
- ・子供たちへの安全教育
- ・保護者や地域住民等との連携・協働体制の整備

### 事故発生

### 初期対応

- ・速やかな応急手当・救急要請
- ・事故発生の一報（死亡事故・意識不明事故等は国まで報告）
- ・基本的な事実関係の整理（基本調査）

### 詳細調査

- ・第三者による要因の調査・再発防止策の提言（詳細調査）
- ・詳細調査の結果を国まで報告

### 再発防止策の策定・実施

- ・詳細調査の結果を踏まえた具体的な措置
- ・事件事例・再発防止策の国における横展開

こちらからチェック



学校事故対応に関する指針

文部科学省

ポイント解説動画  
も公開

## 事故に備えた組織的な取組

【課題】 事故に備えた組織的な取組が十分でない

- ✓ 「安全点検要領」を活用した質の高い安全管理
- ✓ 地域・保護者等と連携した学校安全体制の構築

## 重大事故の国への報告

【課題】 国まで確実な事故報告がなされていない

- ✓ 報告対象事故の明確化（死亡・意識不明事故等）

## 事故発生時の対応

【課題】 事故後の調査が適切に行われていない

- ✓ 調査の実施状況を国が把握
- ✓ 必要に応じて国や教委等が助言等を実施

【課題】 被害者やその家族への配慮が十分でない

- ✓ 中立な立場で対応を支援する「支援担当者」の設置

学校ですぐ使える対応チェックリストを収録

【参考様式1】第2版 活用チェックリスト	
事故発生時の未然防止策（p.5～10 参照）	
◇重大事故・ヒヤリハット事例の共有と活用	
取組等	
□ 国等からの重大事故の事例（詳細調査）や各種事故の注意喚起の通知を、教職員間で共有するとともに、事例についても共有し、重大事故が発生する際、国立行政法人日本スポーツ振興センター（JISC）等事故事例データベースや「学校等の事故防止を進める上で参考となる全国の学校等である。	
□ 学校内での死亡事故の死因の多数が突然死であり、想定した訓練を計画するなど、未然に防止し、あらゆる機会を活用して、安全に関する教職員間の共通認識を醸成し、事故防止に必要な事項は、危機管理マニュアルの策定・見直し	
取組等	
□ 事故等の発生の際に、教職員の迅速かつ適切な対応マニュアルを策定し、毎年度、訓練等の結果を踏まえて、事故発生時の未然防止のために必要な事項は、危機管理マニュアルの見直しに当たっては、全国で発生したヒヤリハット事例も踏まえ、適宜、自校の教職員の危機管理に関する資質の向上	
取組等	

「学校事故対応に関する指針」に基づく対応のポイント

学校編

「学校事故対応に関する指針」に基づく対応のポイント

学校の設置者編

# 学校安全の推進に関する有識者会議(令和7年度)

## 1. 設置の趣旨

令和4年3月25日、今後5ヵ年(令和4年度から令和8年度)における学校安全に係る基本的方向性と具体的な方策を示す「第3次学校安全の推進に関する計画」が閣議決定され、各学校における安全に係る取組を本計画に基づき総合的かつ効果的に推進することとなった。

本計画に基づき、安全で安心な学校環境の整備、組織的な取組等を一層充実していくため、「学校安全の推進に関する有識者会議(以下「有識者会議」という。)」を設置し、学校安全の推進の在り方について検討を行う。

## 2. 検討事項

- (1)第3次学校安全の推進に関する計画の進捗管理に関すること
- (2)学校安全に関する政策の推進に関すること
- (3)その他、学校安全に関する取組状況等の調査・分析に関すること

## 3. 実施方法

- (1)有識者等の協力を得て、上記の検討を行う。
- (2)本会議の下に、ワーキンググループを置くことができる。
- (3)必要に応じて、別紙以外の関係者にも協力を求めることができる。

## 4. 実施期間

令和7年6月4日から令和8年3月31日までとする。

## 5. その他

有識者会議の庶務は、総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課安全教育推進室において行う。なお、本要綱に定めるもののほか、有識者会議の運営に際し必要な事項は別に定める。

### 【委員名簿】

大木 聖子	慶應義塾大学環境情報学部・准教授
小川 和久	東北工業大学・教授
北村 光司	産業技術総合研究所・主任研究員
桐淵 博	公益財団法人日本AED財団 (元さいたま市教育委員会教育長)
坂井 由利子	国分寺市立第十小学校・校長
桜井 愛子	神戸大学大学院国際協力研究科・教授
首藤 由紀	株式会社社会安全研究所・代表取締役
神内 聡	兵庫教育大学・教授
長塚 篤夫	順天中学校・高等学校・校長
平塚 真一郎	石巻市立湊中学校・校長
藤田 大輔	大阪教育大学・教授
村上 佳司	桃山学院大学・教授
山中 龍宏	緑園こどもクリニック・院長
吉門 直子	土佐市教育研究所・所長
渡邊 正樹	東京学芸大学・名誉教授 ◎

# 有識者会議の検討体制と進め方

## 1. 令和7年度における検討体制

- 「学校事故予防に向けたデータの活用と施策の検証」
- 「危機管理マニュアル等の見直し・実効性を高める方策」
- 「学校における安全教育の取組のさらなる充実」

について期間中4回の会議を実施し、検討を進める。※ワーキンググループの設置は行わない。

検討テーマ	第1回 (7月)	第2回 (10月頃)	第3回 (12月頃)	第4回 (2月頃)
学校事故予防に向けたデータの活用と施策の検証	事業説明 協議調査の方向性	協議 ・各調査の分析結果 ・再発防止策等 (サンプル提示)	協議 ・成果物の取りまとめ案	報告 ・成果物の取りまとめ
危機管理マニュアル等の見直し・実効性を高める方策	事業説明 協議調査の方向性	報告(進捗確認) ・先進事例等の選定 ・分析状況	協議 ・成果物の素案	協議 ・成果物の取りまとめ案
学校における安全教育の取組のさらなる充実	事業説明 協議調査の方向性	報告(進捗確認) ・先進事例等の選定 ・分析状況	協議 ・成果物の素案	協議 ・成果物の取りまとめ案

## 2. 検討の進め方

○ 第3次計画期間（令和4年度～8年度）においては、以下の6点を本会議の検討テーマとする。

- ・ 学校事故対応に関する指針の見直しについて【R5年度検討済み】
- ・ 学校における安全点検の在り方について【R5年度検討済み】
- ・ 学校安全を推進するための組織体制の在り方について【R6年度検討済み】
- ・ 危機管理マニュアル等の見直し・実効性を高める方策について【R7年度検討予定】
- ・ 学校における安全教育の取組のさらなる充実について【継続的に検討】
- ・ 学校事故予防に向けたデータの活用と施策の検証について【継続的に検討】

○ 「学校事故予防に向けたデータの活用と施策の検証」と「学校における安全教育の取組のさらなる充実」については、テーマの性質に鑑み、第3次計画期間中は継続的に議論を行うこととする。

○ 令和7年度は、上記に加えて新たに「危機管理マニュアル等の見直し・実効性を高める施策」について、検討を進めることとする。

# 学校安全ポータルサイト



文部科学省

都道府県・政令市教育委員会作成資料一覧

文科省作成資料・取組・事業

今月のニュース

表彰制度

研修会情報

関連情報



当サイトは、学校安全のために、文部科学省や都道府県等で実施している取組やこれまでに作成した資料などを掲載しています。各地域で取り組まれている学校安全の実践事例等を共有し、防災教育を含む安全教育の更なる充実を図るために、情報発信を行います。

- 研修会情報
- 文科省作成資料  
(危機管理マニュアル作成の手引き等)
- 都道府県等作成資料  
(児童生徒等向け教材・教職員向けの資料等)
- 重大事件事例
- 熱中症対策情報
- コンパクトに学べる  
研修資料 等

## What's New 新着情報

4月  
8  
2024

学校事故対応に関する指針と学校管理下における重大事件事例を更新しました。

『屋外でのサッカー活動中における高校生の落雷事故の発生について(令和6年4月5日 事務連絡)』について掲載しました。

**学校安全に関する情報は  
「学校安全ポータルサイト」  
で検索！！**



こちらのQRコードから  
サイトをご覧ください。

<https://anzenkyouiku.mext.go.jp/index.html>



学校における安全点検要領



学校事故対応に関する指針・事件事例共有

改訂版  
令和6年3月

水害に備えた防災教育

マイ・タイムラインの活用について



学校への不審者侵入の防止と対応



Jアラートによる情報伝達と学校における避難行動(例)



教職員のための学校安全e-ラーニング



キーワードから探す

Google 提供



アクセスランキング



1 学校事故対応に関する指針【改訂版】

文部科学省作成



2 学校における安全点検要領

文部科学省作成



3 学校における安全点検要領【リーフレット版】

文部科学省作成



# 教職員のための学校安全e-ラーニング

全ての教職員は、各キャリアステージにおいて必要な学校安全に関する資質・能力を身に付けることが求められています。「教職員のための学校安全e-ラーニング」は誰でも・いつでも・どこでも、学校安全に関して習得しておくべき事項を学ぶことができます。

## 画面イメージ

### 基礎研修② 安全教育の基礎

はじめに

#### 1. 安全教育の目標

- [1] 安全教育の目標
- [2] 安全教育の目指す資質・能力
- [3] 発達段階に応じた安全教育の目標

#### 2. 安全教育の内容

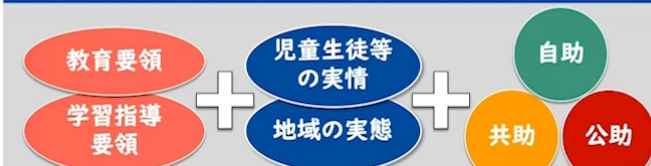
- [1] 学校安全の3領域
- [2] 安全教育の内容－生活安全－
- [3] 安全教育の内容－交通安全－
- [4] 安全教育の内容－災害安全－

#### 3. 安全教育の進め方

- [1] [教育課程における安全教育](#)
- [2] 各教科等における指導
- [3] 特別活動における指導

### 教育課程における安全教育

安全に関する資質・能力を教科等横断的な視点で確実に育む



- ✓ 安全に関する内容のつながりを整理（安全計画に位置付け）  
⇒ **系統的・体系的な安全教育を計画的に**
- ✓ 家庭や地域社会との連携 ✓ 校種間連携
- ✓ 必要な人的又は物的な体制の確保

## 活用シーン

教職員向け研修の  
事前学習教材や動画教材として

- 初任者研修
- 校内研修
- 教員免許状更新講習
- etc.

学校安全ポータル  
サイトで誰でも  
学べます！

大学での  
学校安全に関する  
講義の教材として

個人の自己学習教材として



OK

OK

コースの名称	対象者	主な内容
基礎研修①	教職員を目指す学生等	学校安全の全体像
基礎研修②		安全教育の基礎
基礎研修③		安全管理の基礎
初任者等向け研修	1年目から概ね5年程度の教職員	学校安全の具体
中堅教員向け研修	概ね6年以上、中堅として活動する教職員	学校安全のPDCA
管理職向け研修	管理職又はそれに準じる立場の教職員	目標と体系、組織活動

## 受講修了証

○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○ ○○ 殿

あなたは、下記の研修を受講し、学校安全に関して必要な知識等を修得されましたので、これを証します。

記  
教職員のための学校安全e-ラーニング  
基礎研修①

令和 ○年 ○月 ○日

文部科学省 安全教育推進室

小テストに合格すると修了証が発行されます！